

# 第11回 栃木 リハビリテーションフォーラム

栃木県における特別支援教育の現状  
～子どもたちのために今何ができるか～

わかくさ特別支援学校 2009.2.8

## フォーラム報告

当初、どの程度の人に参加されるのか心配でしたが、今回のテーマである特別支援教育について大きな反響をいただき、皆さんの関心の高さが伺えます。

会場に足を運んでくださった方々も教育現場で働かれている学校の先生、保育士さんがとても多く見受けられました。各専門分野からシンポジストを迎えて貴重なお話を聞くことも出来ました。

今回のシンポジウムは作業療法を啓蒙するという目的も大きく果たせたかと思えます。

## パネリスト

栃木県教育委員会事務局特別支援教育室  
鹿沼市総合教育研究所  
栃木県発達障害者支援センター ふぉーゆう  
自治医大とちぎ子ども医療センター

指導主事 松本 美智代 氏  
指導主事 小野 摂子 氏  
臨床心理士 秋場 美智子 氏  
作業療法士 黒淵 永寿

## コーディネーター

栃木県作業療法士会

作業療法士 谷口 敬道

## フォーラム風景



◀ 115名（一般76名）の参加者を集めて行われたフォーラム会場。教育関係からの参加を多く頂きました。

パネリストの皆さん ▶

◀ 会長挨拶。会長は今回パネリストとして作業療法の役割についてわかりやすく発言されていました。



栃木県作業療法士会では毎年リハビリテーションフォーラムを開催しております。

詳細は当士会ホームページに掲載致しますのでご確認下さい。